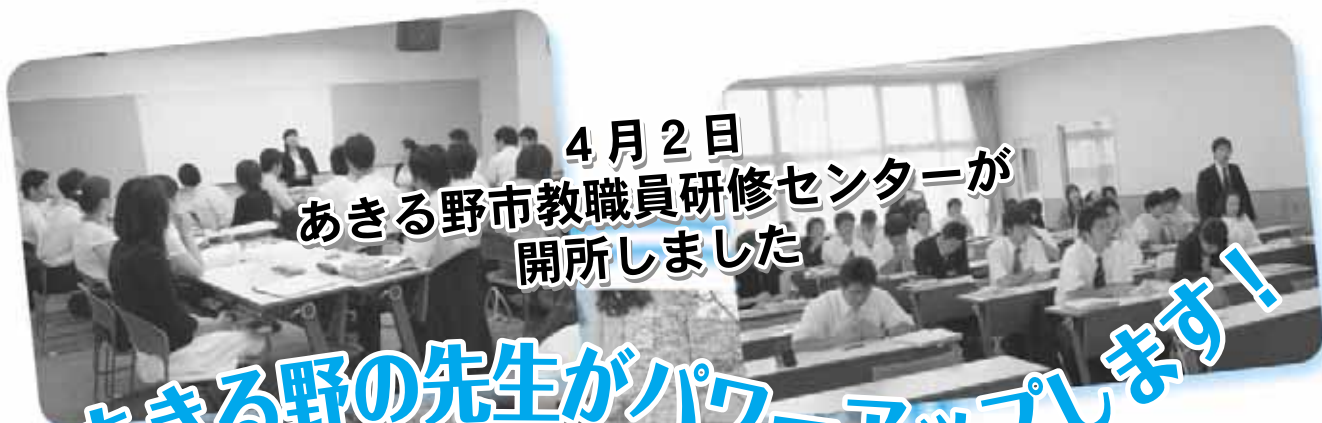


一房のぶどう



第13号

平成20年5月15日 編集・発行 / あきる野市教育委員会
〒197-0814 あきる野市二宮350 ☎042(558)1111(代)



4月2日
あきる野市教職員研修センターが
開所しました

あきる野の先生がパワーアップします！

あきる野市
教職員研修センター



4月16日には、あきる野市公立小中学校教育研究会も発足。
教職員研修センターとも連携し、教師力強化を図ります。

「おとなが手本のあきる野市」運動を広めましょう！

おとなが変われば子どもが変わる！地域が変わる！

子どもたちはおとなたちの行動を見ています。あきる野市では、おとなが子どもの手本となるような行動をすることを促し、地域の教育力の向上につながることを目的に「おとなが手本のあきる野市」運動を展開しています。子どもたちが健やかに成長できるよう、家庭、地域、学校で協力し、子どもたちにより影響を与え、手本となるような行動を心がけましょう。

今後は、「おとなが手本のあきる野市推進事業」としてあいさつキャンペーンをはじめ、「おとなが手本のあきる野市」をテーマに講演会等を開催するなど、積極的に普及につとめてまいります。

市民の方々のご理解とご協力をお願いいたします。

現に向け一体的に取り組みます

については以下のとおりです。また、教育委員会事務局体制を学校教育部と社会教育部を統合し「教育部」の一部制で新たにスタートしました。これは、教育委員会が教育課題に一体的に取り組む体制を強化するために改変したものです。

おとなが手本となり、地域全体で子どもを育てる環境づくりを進め、青少年の健全育成を推進します

次代を担う子どもたちの健全な育成と安全・安心できる環境づくりを目指して、家庭・学校・地域との連携により、おとなが手本のあきる野市推進事業の展開と子どもの読書活動及び、放課後子どもプランの推進を図り、さまざまな体験を通じた青少年の健全育成活動を進めます。さらに、団塊の世代をはじめとする地域の方々が見つけた教育力をいかすための体制づくりの検討を進めます。

- おとなが手本のあきる野市推進事業の実施
- 子ども読書活動推進事業(ブックスタート事業の実施)
- 放課後子ども教室モデル事業の運営 ほか

市の歴史・文化、芸術に親しみ、伝統文化の継承と地域文化の創造に向けた環境づくりを進めます

市民が芸術活動に触れる機会を確保するとともに、市内に伝わる有形・無形の文化遺産を保護継承するための活動を支援します。

- 市民との協働による芸術文化活動の推進
- 子どもたちへの伝統芸能等継承活動への支援
- 芸術文化振興事業の実施
- キララホール各種コンサートの開催
- 文化施設の適正な維持管理 ほか

中央公民館、あきる野ルピア生涯学習センター

秋川キララホール、五日市郷土館、二宮考古館、指定文化財等

秋川体育館、五日市ファインプラザ、市民プール、いきいきセンター、市民球場ほか屋外運動施設

中央図書館、東部図書館エル、五日市図書館、増戸分室、戸倉分室、小宮分室

市民の学習活動を支援し、学習成果を生かした社会参画の場づくりを進めます

「市民自らが、目標を持ち、学習する機会を選択して、学習や交流活動ができる」ように、施設の良好な管理運営を行い、市民の自主的・自発的活動を支援すると共に、市民の学習機会を提供していきます。

- 生涯学習コーディネーター、市民解説員等生涯学習推進指導者の育成と生涯学習支援者人材バンクの充実 ほか

健康で、生きがいにつながる市民スポーツの振興を図ります

子どもから高齢者まで気軽に親しみ、楽しむことができるスポーツ・レクリエーション活動と健康づくりにつながる安全で利用しやすい環境整備を進めます。

- 健康の維持・増進を目指したスポーツの普及・振興
- 生涯スポーツの推進
- 各種スポーツ団体の育成
- 各運動施設の適正な維持管理と施設配置の検討 ほか

図書館資料の収集と利用促進を図り、生涯学習活動の支援と地域情報の収集・保存及び発信を進めるとともに、子どもの読書活動を推進します

団塊の世代や子育て世代など市民の学習活動を支援し、交流の場として活用できる図書館づくりを進めるとともに地域の歴史、文化、行政に関する資料のデジタル化を進め、情報の発信に取り組みます。

子どもの読書活動推進計画に基づく、子どもの健やかな成長を支える読書活動を推進します。

各学校、文化団体連盟、体育協会、スポーツ少年団、郷土芸能連合会、ボーイスカウト・ガールスカウト連絡協議会、青少年健全育成地区委員会、中学校区健全育成推進会議、等各種団体、地域ほか

人が育ち人が輝く
あきる野の教育

「生涯学習社会」の実

あきる野市教育委員会は平成20年度教育目標を「人権尊重と社会貢献の精神を基調として、あきる野市民憲章に則してすべての市民が豊かな自然や伝統・文化に誇りをもち、生涯を通じて学ぶことのできる生涯学習社会の実現を図る。」としています。この目標を達成するために今年度、具体的に取り組む主な事業や取り組み

学ぶ意欲の高揚、教師の指導力の向上など、学力の向上事業を推進します

研究奨励事業 教育委員会では次の学校を研究校として指定し、教員の授業実践力の向上を進め、授業の改善や家庭との連携など、子ども一人一人の学ぶ意欲を向上させ、学びの習慣化による確かな学力を定着させる取り組みを進めます。

研究推進校（あきる野市）：東秋留小・東中（体育・健康） 御堂中・草花小（小中連携）

研究協力校（あきる野市）：戸倉小（小規模校教育） 小宮小（小規模校教育・キャリア教育他）
秋多中（総合的な学習の時間）

日本の伝統・文化理解教育推進地域事業（東京都） 地域の伝統・文化を教材とした学習を地域の皆様の協力を得ながら市内全校で展開し、ふるさとあきる野を愛する子どもを育てます。

あきる野市教職員研修センターの開設 学力向上を図るためにはその指導にあたる教員の資質、指導力を高めることが大切です。そこで、今年度から教員の研修機関として研修センターを開設し、4人の校長経験のある指導員を配置し、意欲と指導力のある教員を育てます。

すべての子どもが生き生きと楽しい学校生活を送ることができるよう、特別支援教育を推進します

これまで確立した特別支援教育体制をさらに充実させ、就学前や義務教育終了後の支援も視野に入れた取り組みを展開します。

校内体制整備：コーディネーターの育成とコーディネーターを中心とした校内委員会の充実

指導・相談の充実：相談員による学校訪問と指導、助言、専門委員会の設置、指導補助員の配置
副籍事業の推進：連絡会、交流計画・評価 幼稚園・保育園等との連携：就学支援シート 等

屋城小学校に特別支援学級（通級・情緒障害等）が開設されました 主に東秋留小学校、前田小学校、屋城小学校の通常の学級に在籍する児童を対象にコミュニケーションにかかわる専門的な指導を行います。これで特別支援学級が設置されている小学校は7校となりました。

・ ・ いじめ・不登校〇への挑戦 ・ ・

子どもが互いに認め合い、また、大人が子ども一人一人の個性や可能性を適切に生かせる環境が整えば、いじめや不登校、虐待は「0」にできる。その責任が、私たちあきる野市民にあります。このことへの挑戦をさらに進めます！家庭、学校、地域の行動連携を一層強化します。


命を大切にし、思いやる心をはぐくむ人権教育を推進します

子ども一人一人が自分の大切さを認め、他の人の大切さを認めることができる環境づくりを進めます。命はかけがえのないものであり、互いを思いやる心の大切さは、家庭、学校、地域の全ての場で、自分自身がかけがえのない存在であり、自己のよさや可能性を自覚できる環境の中でこそ育成されます。家庭、学校、地域が共通の課題意識をもって地域で推進する体制を整えます。

人権教育推進のための調査研究事業（文部科学省）：各中学校ブロックごとに「優しい言葉 元気なあいさつ」に向けての取組を家庭、地域の皆様と一緒にいき、地域ぐるみで人権意識を育てます。

私たちが自信をもって「輝くあきる野の子ども」を育てます

東秋留小学校




教育方針
教育目標は「人間尊重の精神をもとにして、豊かな人間性と未来を拓く力をもった児童を育てる」を柱とし、「豊かな学び」「すこやかな体」「ひろい心」を設定しています。

経営方針
1. 児童にとって健康で楽しく生きがいのある学校づくりの推進
2. よくわかる楽しい授業の推進
3. 学校・地域社会・家庭が心と手をむすび、連携を密にした教育の推進

- 特別支援教育を軸に「通常学級」と「ひまわり学級」との交流および理解教育の推進
- 豊かな自然と文化と人材を生かした地域に根ざした教育の推進
- 心身ともに健康な児童の育成

いい体験を数多く経験させ、心の居場所をつくり、一人一人の個性に応じた指導を進めたことによって、不登校になる児童はいません。確かな学力や基本的な生活習慣を身につけるために実践を深めます。また、学校と地域社会と家庭が密接に連携をとり特別支援教育を進めています。あきる野市研究推進校として、本校と東中学校と連携し、体育科・健康教育を通しての研究を進めています。1月28日には研究の成果を発表しました。

多西小学校




教育目標
心豊かでおもいやりのある子
ねばり強くやりぬく子
明るく元気な子
平成20年度経営方針
活力と魅力にあふれ、子どもも教師も明るく燃える多西小
規律と品格のある子ども
信頼される学校
授業力を磨く教師集団
組織的な学校経営

多西地区が誇る開校135年の多西小学校は、歴史と伝統の中で磨きぬかれた家庭・地域の教育力を最大限に生かし、「多西小に選ばれてよかった」と言っていたる学校づくりを目指します。

多西小学校は、「児童の学力向上＝教師の授業力向上」を合言葉に、魅力ある授業づくり、全教職員総力の総力を挙げて取り組んでいます。本年度から、3年生～6年生までの算数科において、少人数指導を通常で実施し、個別の支援をより充実することで基礎学力の向上を目指します。また、1・2年生算数科では従来通りT・T指導・教員補助員、特別支援補助員の活用を推進することで基礎学力の定着を図ります。


西秋留小学校



教育方針
人間尊重の精神を基調とし、個性豊かで、たくましく生きる、心身ともに調和のとれた児童の育成を目指し、次の教育目標を設定する。
心豊かな、たくましい子ども
思いやりのある心
考える力
じょうぶなからだ
秋川の清流にのぞみ、風光明媚な地にある。保護者の教育に対する期待と関心が高く、地域も、自分たちの学校という意識が強くなり、協力も惜まない。地域活動も活発で、学校・PTA・地域の連携が密に保たれ、豊かな体験活動の充実が図られています。

こんな学校を目指します
人と人とのかわりを大切にし、共に学び共に育つ学校
●安全な学校（学びやすい環境 安心して通える学校）
●あたたかい人間関係、交流にあふれた学校（地域との交流活動 あきる野学園との交流 たてわり班活動 読み聞かせによる豊かな心の醸成）
●学びのある学校（算数の少人数指導 得意なことの見見 特色ある総合的な学習の時間 他人のよさの見見）
●子どもや保護者や地域に開かれた学校（学校公開 サマースクール 道徳授業公開 学校評議員会 外部評価）

屋城小学校




教育方針
(1) 言語環境を整え、心の教育を推進する。
(2) 特別支援教育の充実を図り、子供が心穏やかに過ごせる学校をつくる。
(3) 子供が興味・関心をもつ授業を進め、一人一人の学習意欲を高める。
(4) 学校公開や特色ある教育活動の充実を図り、地域社会との連携した教育を進める。
(5) 教職員が情報を共有し、学校運営組織の充実・強化を図る。

本校では、教育の目標の「や（やさしい）・し（しっかりした子）・ろ（ロマンのある子）」を合い言葉に、全教職員一丸となって、人権尊重の精神のもと、心身ともに健康で、豊かな児童を育てようとしています。

今年度、コミュニケーションクラスが開設されます。一人一人の子供に合った学習指導を行うため、特別支援教育をより充実させていきます。また、すべての子供にとって「安全で安心して学ぶ地域の学校」を目指す屋城小は、地域の方々と協働して子供達を健全に育てていきたいと考えています。どうぞご理解とご協力をよろしくお願いたします。

南秋留小学校




教育方針
豊かな学力の定着を目指し、分ける喜び、学ぶ楽しさを感じる授業を工夫する。
●体験的な学習を軸とし、地域の文化や自然環境を積極的に授業に生かす。
●心の教育の充実を図り、より良く生きようとする力を育成する指導を展開する。
●教育への情熱と子どもたちの愛情をもち、適切な指導、子どもに寄り添った対応を進める。
●学校が、組織として一丸となって子どもの成長を進める。

「美しい景色とビオトープ、子どもいきいき南秋留小学校」これが本校のキャッチコピーです。学校南側に広がる加住丘陵と秋川、体育館横にはビオトープ。そんな恵まれた自然環境の中で、子どもたちは、いきいきと毎日の学習に励んでいます。

本校は、豊かな自然環境に恵まれ、児童数は690名と、市内でも一番規模の大きい学校です。確かな学力の定着を目指し、校内研究の充実にも力を入れ、今年度は国語科の研究を進めています。また、30年連続している米作りは、本校の伝統的な体験学習のひとつで、地域の方々から様々なことを学んでいます。市内でも最大級の大どきと焼きに象徴されるように、PTAや地域行事と密着した教育も進めています。

草花小学校




教育目標
●よく聞いてよく考える
●心豊かな子
●たくましく生きていく
●たくましく生きていく
●たくましく生きていく

開校33年目。家庭・地域の連携と「人間理解教育」の一層の充実を目指し、ゆくり学ぶ学級（ふたば学級）の存在を生かした教育活動を展開します。

今年度の草花小学校の特色ある教育活動
1 御堂中学校との連携した教育の推進
あきる野市教育委員会からの研究指定を受け、学力向上や健全育成に小中で連携して取り組む教育を推進します。
2 地域に感謝し、地域との連携をさらに進める教育の推進
子どもたちの安全見守りや健全育成が、今後ともよりよい形で推進できるよ、日頃の感謝の気持ちを含めて、9月17日に「祖父母授業参観」を実施します。


一の谷小学校



教育目標
●よく聞いてよく考える ●やさしい心をもつ
●最後までがんばりぬく
●最後までがんばりぬく
●最後までがんばりぬく

一の谷小学校は、秋川を挟んでサウランドと対面している、全館冷暖房完備の学校です。本年度で開校33年目を迎えます。開校当時、地域の方々から寄せられた秋の木の木は、今でも地域の方々の手によって剪定が行われており、まさに、地域の学校に対する思いに支えられていく地域であることが誇りに思っています。現在の児童数は7学級で、児童数は195名です。国語と算数の2教科で少人数指導を実施しています。15分スケジュール学習の取り組みとともに、基礎学力をつける指導の充実を図っています。あきる野学園との交流は9年目を迎えます。学期1回の休日の学校公開。地域の経験豊かな方々から指導者体制の充実も図っています。

前田小学校




教育方針
「命を大切にし、共に輝き生きていこう」
●なかくく...自ら学び、考える力を育てる。
●かしくく...のよきよき、自分のよきよきを生かして。
●たくましく...じょうぶな体とねばり強い心をもつ。

基礎基本の定着・向上、人権教育・特別支援教育の充実を二本柱とし、地域との協力のもと、サマースクール、米作りなどの体験学習、ことばの教室（通級指導学級）を充実させていきます。

【前田プラン】
子どもが変わり、教師も変わる学校
『元気がいっぱい』『歌声いっぱい』『あいさついっぱい』
前田小は、元気がいっぱいあります。楽しい授業が行われ、子どもたちが元気にいっぱい学んでいます。休み時間は、広い校庭で元気い遊び遊びます。子どもたちは、歌が大好きです。音楽の時間だけでなく、いろんな時、いろんな場所から、歌声が響いてきます。子どもたちがなかくく、元気よくあいさつします。先生や保護者・地域の方々も進んであいさつします。人と人のかかわりを大切に「共に学び共に育つ学校を！」を目指します。

増戸小学校




教育目標
●考える子ども 自ら課題を見つけ、進んで学び、よく考える子
●進んで行動する子ども 相手の気持ちを感じる思いやり、気づいたことに向かってみる行動にできる子
●健康な子ども 心豊かに充実した生活を送るために、健康な体づくり、強い意志をもてる子

本校は、あいさつ運動や吹奏楽のジョイントコンサート、合同避難訓練など、増戸中学校と小中連携教育活動に力を入れています。

本校は、特別支援教育コーディネーターを中心に、学級担任と特別支援学級（通級）担任と連携・協力し、保護者と密に連絡を取り合いながら、外部機関との連携に努め、個に応じた教育を充実させています。また、横沢入りの里山自然体験学習や稲作体験など、地域の方々との交流を通して、地域に根ざした伝統・文化教育を推進しています。

五日市小学校




教育目標
知：基礎的・基本的な内容をしっかり教えます。
徳：道徳を学んだことを、日常生活で実践できるように指導します。
体：体育の時間の充実と日常的な体力作り活動を盛んに行います。地元の生かした山登り遠足を行っています。
芸：歌謡、朗読、絵画等の日常の活動を盛んに行います。
勤：勤労奉仕活動を盛んにし、働く喜びを感じることができるよう指導します。「おそうじ」もしていかに教えています。

本校では全教職員の英知を集結して「知・徳・体・芸・勤」のバランスのとれた児童の育成を全力で目指します。

開校明治6年。校長室には初代からの校長先生の写真がずらりと並び、五日市小学校の発展を静かに見守っています。また、廊下や、資料室には明治時代からの卒業生写真がズラリと並んでいます。校庭には由緒ある木々が茂り、校庭に響き渡る鼓笛隊の演奏は、50年の輝かしい歴史を表しています。五日市小学校は全市に先駆けて平成18年度より「祖父母参観日」を行い大好評を得ました。輝く伝統を支えられ、地域に愛される落ち着いた学校の一つです。


戸倉小学校



教育目標
人権尊重の精神を基盤とし、特色ある教育を展開し、考える力と思いやりの心を育て創造性や確かな学力、豊かな人間性を身に付け、心身ともに健康で、自ら学び実践する児童の育成に当たる。
進んで学ぶ子
思いやりのある子
体を大切に育つ子

2名の新人児童を迎え、全校児童28名で新学期がスタートしました。家族的な雰囲気の中にも節度もおもしろ、明るく挨拶や子どもたちの歌声にあふれた規律ある学校づくりを目指します。

小宮小学校



教育目標
気付き考え実行する子
物事に対する関心、考えを深める態度、進んで取り組む習慣と約束を守る態度、仲間いっしょに学ぶ子
思いやり、きまりと約守る態度、郷土を愛し誇りに思う心育み
明るく元気な子
健康的な習慣、丈夫な体、活動的な態度、互いに認め合う心育み
＜目指す子ども像＞
この子
み 見ゆる子
や やさしい子
『こ・み・や』の子

本校は、東京都でいちばん児童数の少ない学校（島嶼を除く）ですが、一人一人のパワーで、小規模校を感じさせない力強い教育活動を進めています。

小宮小学校は、少人数である特徴を十分に生かした教育活動に定着し、児童にわかりやすい授業を進めることで基礎・基本の定着を図り、各教科での発展的学習を通して思考力・判断力・表現力等の育成を目指します。また、全校宿泊学習・縦断りの様々な活動等を通して、豊かな心や健やかな体の育成を目指します。

今年度開校135年を迎える戸倉小学校は、かつて戸倉城があった城山のふもとにあり、たくましく生きる、心身ともに調和のとれた児童の育成を推進するべく、秋川の清流に潤まれるなど豊かな自然に恵まれています。また、地域全体で学校を支える土壌の中からも子どもたちのびとびと育っています。42年目を迎える島嶼教育も本校の特色の一つです。

自満できる子どもたちを育てます

秋多中学校



校長 丹治 充
副校長 渡辺 暁

いのちの尊さを深く自覚し、たくましく生き、
進んで社会の発展に尽くす人を目指して。
ゆたかな心を持つ
たくましい体をつくる
しなやかな個性を磨こう

「いのち」を、生命だけでなく人権なども含んだものととらえ「いのち尊ぶ教育」を推進しています。また、「生徒と教師が共に燃えて感動できる学校」を目標に日々活動しています。

「学力の定着と向上を図り、豊かな体験活動を通して個性と想像力を伸ばす 生徒と教師と共に燃え感動できる学校」を目指す学校像として授業改善に取り組んでいます。今年度は、数学と英語の全学年、1・2年の国語で少人数指導を実施します。また、長期休業中と定期試験前等を中心に補充教室を行っています。

「いのちを尊ぶ教育」の一環として、1年では「いのち」をテーマに調べ学習、2年では福祉施設での職場体験活動、3年では「生き方」について学習します。

昨年度の創立50周年を期に「深めよう地域の絆！伝えよう命の尊さ！羽ばたこう未来へ！」のもと、教育活動を推進してまいります。

西中学校



校長 山形 正則
副校長 清水 和彦

- 「本気」「元氣」「根氣」を合言葉に、思いやりと規律と活力のある学校を目指している。
- 「思いやりの心を育む教育」を中心に据え、コスモス街道の整備やあきる野学園との交流を通して、教育実践をしている。
- 「基礎 基本の充実」を重点課題とし、少人数等による学力の基礎・基本の定着、部活動や行事による生活の基礎・基本、障がいのある方々との交流による心の基礎・基本の充実を図っている。

あきる野市のほぼ中央に位置し、周囲を、都立あきる野学園、多摩養育センター、旧都立高校、富士通そして野菜やクリの畑に囲まれた、創立30周年を迎えた学校です。

すばらしい教育環境の中で、生徒は知・徳・体をバランスよく学んでいる学校です。学習では各教科はもちろん朝読書・選択授業を真剣に取り組んでいます。心の育成面では、行事や総合的な学習の時間を中心に、コスモス街道の整備や障がいのある人との交流・体験を通して「思いやりの心」をしっかり培っています。健康・体力の面では、多くの部活動が東京都のトップレベルにあり、体育大会や行事に燃え、生徒は主体的に活動しています。

増戸中学校



校長 中道 司
副校長 岩下 伴雄

- 1 生徒のために「行きたい学校」をつくる
 - (1) 学習指導は、「おもしろい」で刺激し「わかる・できる」を経験させる。
 - (2) 生活指導は、「きびしさ(規律)」と「やさしさ(生徒理解)」のバランスをとる。
 - (3) 体験活動で、心を育て、心に夢を宿す。
- 2 保護者・地域のために「行かせたい学校」をつくる
 - (1) 生徒の楽しそう学校へ通う姿
 - (2) 生徒の何かに真剣に取り組む姿
 - (3) 生徒の成長を実感できた喜び
- 3 教職員のために働きがいのある学校をつくる
 - (1) 一手間掛けた仕事を。 (質)
 - (2) プラスの仕事をする。 (量)
 - (3) 締め切りより早く完成させる。 (時間)
 - (4) 常にチームの一員であることを意識する。 (関係)

「夢を持ち続ける人」「進んで努力する人」「思いやりのある人」を生徒の理想像とし、保護者の方、地域の方と力を合わせ、教育活動を推進しています。

自然豊かな、1小学校、1中学校の学区にあり、小学校と連携した挨拶運動や、少人数指導・選択授業と体験活動の工夫と充実力を入れ、行政や保護者・地域の支援もいただき、成果を上げています。昨年度、地域と一緒に、開校60周年の記念行事を行った「地域から愛される学校」の伝統を守り続ける学校です。

東中学校



校長 清水 信光
副校長 河智 健三

教育目標 (目指す生徒像)
社会の変化に主体的に対応できる心身ともに健全な社会人の育成をめざして
よく考え、最後までやり抜く人
豊かな心を持ち、思いやりがある人
常に自分を高めようと努力し、創造力のある人

学校経営の基本姿勢 (目指す学校像)
生徒の安全を確保する (安心して学べる東中)
生徒の人権を尊重する (生徒が大切にされる東中)
生徒の学習を保障する (本当の学力がつかえる東中)

平成20年度スローガン

「知性・感性・社会性」を高め、思いやりの心あふれる開かれた東中

東中は、運動部、文化部ともに活動が盛んです。また、特別支援学級の生徒は全員青梅マラソンに参加し走っています。一人一人の生徒を大切に、思いやりの心あふれる学校をめざします。また、PTA、PTAOB会(東雲会)、地域による教育活動や安全確保への支援も活発に行なわれています。

御堂中学校



校長 山崎 雅司
副校長 古田 博己

人権尊重の精神を基調とし、自主・自立、真理の探究の精神に富み、心豊かでたくましい生徒を育成するため次のように教育目標を掲げています。

- 自ら学び自ら考え実行する生徒
- 理想に向かって向上努力する生徒
- 美しい心たくましい体の生徒

- (1) 少人数授業を通して生徒一人ひとりの習熟の程度や興味・関心等に応じたきめ細かな学習指導を行い基礎的・基本的な学力の定着と向上を目指し指導します。
- (2) 教育相談部を中心に、生徒の心のケアや不登校生徒への指導をスクールカウンセラーとともに組織的な相談活動を行います。
- (3) 総合的な学習の時間の活動を通して、情報を読み取る力、情報をまとめる力、考える力、発表する力等を育成して多面的なものの見方や考え方を身につけるよう指導します。

本校は、草花丘陵を背に、南には平井川、西に遠く奥多摩の山々を望む恵まれた地域です。保護者・地域の方々には本校の教育に大きな期待を寄せ大変協力的です。生徒は、明るく素直で授業や部活動に熱心に取り組んでいます。生徒会ではより良い人間関係づくりを目指して、「あいさつは御堂の顔」をスローガンに取り組んでいます。また、環境への意識を高めるために「もったいない運動」にも取り組み、実績をあげています。

五日市中学校



校長 加藤 高明
副校長 曾我 有二

教育目標
●よく考えて行動する生徒 (自律)
●進んで協力する生徒 (協働)
●思いやりのある生徒 (共成)
●心身共に健康な生徒 (健康・安全)

経営目標
めざす生徒像
●自ら光り輝く基礎学力を身に付けた生徒
めざす教職員像
●生徒のよさを引き出し、素質・才能を開花させることに生きがいを見出し、五中生への愛情は誰にも負けない誇りと確かな授業力を身に付けた光り輝く職員

めざす学校像
●生徒が明日の登校を楽しみにし、教職員が指導に喜びを抱き、地域から「あの学校は地域の誇りだ」といわれ得る地域に光り輝く学校

本校は、昨年11月に開校60周年記念式典を挙行了いたしました。この間、地域住民と保護者の期待に支えられ育てられてきました。現在も学校・保護者・地域が一体となり教育活動を進めています。

本校は伝統と歴史と豊かな自然環境に恵まれ、生徒は充実した学校生活を日々送っています。勉強(少人数授業等)や部活動、特別支援学級の活動と生徒同士の交流、ガードレール清掃等の様々なボランティア活動、活発な学校行事(運動会や音楽会)、地域行事への参加(中学生御輿)等が学校と地域・保護者の協力のもとに行われ、より高い教育効果をあげています。

学校評価がかわります

学校による自己評価と学校関係者評価

保護者、地域の期待に応え、信頼される学校をめざして

学校評価がかわる目的は

学校の裁量が拡大し、学校の自主性・自律性が高まっています。そして、学校はその教育活動等の成果を自ら検証し、必要な改善を行うことで教育の水準の向上と保証を図ることが求められています。

また、学校に対する保護者等の関心が高まる中で、学校が適切に説明責任を果たすとともに、地域や家庭と学校の状況に関する共通理解をもつことにより相互の連携協力の促進が図られることが期待されています。このように学校を取り巻く社会の変化を受けて、学校教育法が改正され、学校評価について次のように明確に示されました。

- 学校は教育活動その他の学校運営の状況について自ら評価を行い、その結果を公表すること。
- 学校は自己評価の結果をもとにした学校関係者評価を行い、その結果を公表すること。
- 学校は評価結果について教育委員会に報告すること。

学校評価の内容

教育委員会では、平成二十年度の教育目標や基本方針から次に示す7項目について「重点的に取り組む目標」として各学校に示しました。

教育課程・学習指導

- 1 児童・生徒の学力向上に向けて、「分かる授業」「楽しい授業」をめざした授業改善に努める。
- 2 郷土の伝統・文化や豊かな自然に触れる機会を多様にし、郷土を愛する心と誇りをはぐくむ教育を推進する。

進する。
生徒指導

- 3 いじめ・不登校ゼロをめざし、組織的・計画的な取り組みを進める。
- 4 「優しい言葉」「元氣なあいさつ」を中心とした人権意識を高めるための教育を推進する。

安全管理

- 5 子どもたちが安心して安全に生活できる学校や地域の環境づくりを進める。

保護者、地域住民等との連携

- 6 保護者や地域住民の参画を求め、開かれた学校づくりを推進する。

特別支援教育

- 7 個々の教育的ニーズに応じた指導を受けられるよう特別支援教育を推進する。

評価と公表

学校評価についてはこれまで、学校ごとに実施をしてきましたが、評価結果を公表したり、説明・報告したりすることについては学校ごとに判断し、多くの学校で実施されていませんでした。

今年度より、各学校においては、この目標に対する達成状況を保護者や児童・生徒によるアンケート調査や実施状況等から自己評価するとともに、その結果をもとに学校評議員等による学校関係者評価を行います。さらに、その結果や評価をもとにした改善策については保護者の皆さんに公表します。

詳しくは各学校からお知らせがありますのでご理解、ご協力をお願いします。

子どもの読書活動を推進する 取り組み(第1回)

小さい頃から、お話や絵本に親しみ、子ども時代に想像力豊かな物語の世界に接することは言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、生きる力をも身につけていく上で欠くことのできないものです。

市では、子どもが本に親しみ、豊かな言葉と考える力、やさしい心をはぐくむ読書活動の取り組みを推進するために「子ども読書活動推進計画」を策定しました。

子どもの成長過程のなかで、子どもにかかわる児童館や学校などの施設が連携して、子どもの読書活動の推進を図っていきます。この取り組みの内容を3回に分けて掲載します。

第1回目

「お腹の赤ちゃんへ、そしておひざの上で」と題してあたらしく母親・父親になる方と乳児に対する取り組みです。

あたらしく母親・父親になる方が、子ども読書について理解をする事は、生まれてくる子どもの大きな力となります。子どもが生まれる前から、子どもの読書に関する知識や絵本の読み聞かせの方法を身につけられるよう、両親学級などでのカリキュラムに、子どもの読書推進に関するものを加えていきます。

乳幼児健診でも、ブックスタート事業として、読書の大切さを啓発するパンフレットを配布したり、図書館職員が施設に向いて読み聞かせをしたりと、乳児期から身近な読書環境の充実に取り組みます。

第2回は、「保育園・幼稚園と図書館の連携・協力」です。

「あきる野市子ども読書活動推進計画」は、図書館ホームページでご覧になれます。

<https://www.library.akiruno.tokyo.jp/index.asp>

てくてくあきる野
むかし発見！

第9話
「ちよこ」と調べてから
出かけるか
ネットもいけど
アナログもいべ〜

もつすぐ梅雨の季節となりま
す。傘を差して「てくてく」歩
くのもいいものです。そんな時
にお薦めなのが、歩く前の下調
べです。さまざまな文化財を見
て歩く時に、その文化財に関す
る情報があるとないとでは、て
くてく歩く時の気分がちがいま
す。また、その時は特徴などが
よくわからない文化財でも、紐
解く糸口をきつと発見すること
ができるでしょう。

皆さん、市内には、下調べに
もつてこいの施設がたくさんあ
るのをご存知ですか。もちろん
無料で利用できます。

まずは、市内にある四つの図
書館です。ここには地域資料の
充実したコーナーがあり、市の
歴史や文化財を調べるのに便利
です。

東の方から順に紹介すると、
東秋留駅から徒歩約5分のとこ
ろに東部図書館エルがあります。
館の南側には前田公園がありま
す。ここは東京都の指定史跡「前
田耕地遺跡」でもあります。こ

の公園の下には縄文時代や弥生
時代の家の跡がそのまま保存さ
れています。お次は、昨年8月
に開館した中央図書館。秋川駅
から徒歩3分ぐらい。もつすぐ
「五日市憲法草案」が、この図
書館で大切に保存されるように
なります。次は、中央図書館増
戸分室。やや小ぶりの図書館で
すが、資料はきつちりそろって
います。そして最後に、五日市
図書館。ここにも五日市憲法草
案関係の資料が充実しています。

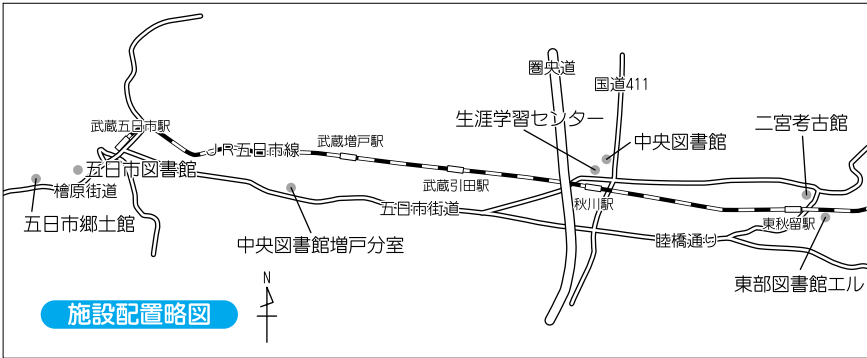
また、インターネットを利用
される方ならどなたでも自宅で
簡単に文化財関係の情報を得る
ことができるのが、「あきる野
市デジタルアーカイブ」です。
図書館のホームページで郷土の
ゆかりの人物や五日市憲法草案
など様々なデータや情報を発信
しています。

図書館以外で資料が充実して
いるのが、二宮考古館と五日市
郷土館です。展示しているもの
以外にも、数多くの資料を収蔵
していて、まさに資料の宝庫と
言つていいでしょう。二宮考古
館には都内外の埋蔵文化財の調
査報告書が数千冊あり、一部を
除いて閲覧、貸し出しを行つて
います。区市町村別にカード検
索ができるようになっていきます。
若干専門的な本が多いですが、
のぞいて見るのも一興です。
次に五日市郷土館です。都内

各市町村から発行された歴史や
民俗、自然などの書籍が充実し、
窓口で声をかけていただければ
閲覧ができます。

このように、市内には文化財
資料の充実した施設がたくさん
ありますので、利用しない手は
ありませんよ。

さらに、はじめて歩く方にお
薦めなのが、生涯学習センター
でボランティアの市民解説員が
行っている「市内探訪」です。



放課後子ども教室
「あそびの応援団」募集中！

子どもたちの遊び相手となつ
て関わっていただけると「あそび
の応援団」(ボランティア)を
募っています。子どもたちに昔
あそびや読み聞かせ、編物、工
作など教えてくださる方、子ど
ものあそびを見守ってくださる
方、ぜひ登録ください。

放課後子ども教室とは、小学
校1年生から6年生までの全児
童を対象に、学校の施設等を利用し、地域の方々の協力をいた
だきながら、子どもたちの自主
的な活動を通して、豊かな放課
後の環境づくりと子どもたちの
安全で安心できる活動場所を提
供するものです。

中央図書館増戸分室	5 9 6	開設日時	原則毎週水曜日の 放課後(午後5時まで)(10月 から3月は4時まで)
生涯学習センター(あきる野ル ピア内)	5 5 0 4 7 4 7	連絡先	健康福祉部児童課ま たは教育部生涯学習推進課へ
五日市郷土館	5 9 6 4 0 6		
二宮考古館	5 5 9 8 4 0 0		

生涯学習支援者バンクに登録しませんか

教育委員会では、市民の生涯にわたる学習活動、児童・生徒の
学校外活動を支援するため、生涯学習支援者バンク事業を実施し
ています。

みなさんの持つ知識・技能を生涯学習活動に活かしてみませ
んか。随時、登録を受け付けています。

問合せ 生涯学習推進課(558・2438)